

「コミュニケーション英語Ⅲ」 シラバス

学科	普通科	学年	3年	類型	I・II・III	組	1～4組	単位数	I・II 4, III 3
使用教科書	Perspective English Communication III NEW EDITION (第一学習社)								
副教材等	英単語ターゲット1900 6訂版(旺文社) Vision Quest 2nd Edition 総合英語(啓林館) Next Stage 英文法・語法問題 4th EDITION(桐原書店)								

1 学習の到達目標

<p>(1) 「コミュニケーション英語Ⅱ」で学習した内容を基に、環境問題や人権問題などの様々な社会問題、医療や科学、文化、芸術に関わること、価値観に関することなどより幅広い話題について考え、自分の意見を英語で話したり書いたりする能力を伸ばす。</p> <p>(2) 「コミュニケーション英語Ⅱ」の学習の成果を生かし、場面の目的に応じて、主体的に英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることで自発的にコミュニケーション活動に取り組むとともに、教室内外において積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。</p>
--

2 学習評価

次の四つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により、100点法で評価し、学年末に5段階の評定に総括する。

① コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	他者とコミュニケーションを図ることに関心を持ち、主体的・積極的な態度で「読む」「聞く」「話す」「書く」の言語活動に積極的に参加しようとしているか。				
② 外国語表現の能力	幅広い話題について、情報や考えなどの相手に伝えようとする事柄を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。				
③ 外国語理解の能力	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの相手が伝えようとする事柄を的確に理解することができているか。				
④ 言語や文化についての 知識・理解	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。				
評価方法 \ 観点	①	②	③	④	備 考
学習状況の観察	A	A	B	—	ペアワークやグループワークへの参加状況・教師の質問に対する応答
言語活動の観察	A	B	A	B	教科書本文の口頭要約・スピーチや話し合い等の発表活動・スピーキングテスト
ノートなどの提出状況	B	B	B	C	定期考査や文法や表現に関するテストの後に訂正ノートを提出
ペーパーテスト	B	A	A	A	定期考査・課題テスト・小テスト

※ 表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表わしている。

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	Lesson 1 Let's Go to the Movies! Lesson 2 Louis Pasteur – Medical Wonder Worker Lesson 3 The Loneliest Black Player Lesson 4 Hidden in the Dark Lesson 5 The Man Who Photographed History	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習→授業→復習のサイクルを確立させた上で、以下のことに留意して学習する。 (1) 各章において、予習を行い、新出語句や理解できない部分について辞書等を用いてその意味を調べた上で授業に臨む。 (2) 本文については、ペアワークなどの言語活動を通して理解を深め、内容に関する自分の意見を英語で伝える。 (3) 本文を通して異文化理解、人権問題、著名人などの功績等を学び、幅広い知識と教養を身に付ける。 (4) 前時で学習した項目を用いて英作文や英語での発表等を行い、学習内容の定着を深める。 (5) 特殊構文などの難解なものが扱われた英文に慣れるようにする。
二 学 期	Lesson 6 Feathers of Love Lesson 7 You Can Be a World Memory Champion! Lesson 8 Science of the Canyon Lesson 9 A Miracle of Navigation Lesson 10 Who Do You Want to Be? Lesson 11 Giving Hope to Kids in Palestine Lesson 12 Nature Loves Mathematics	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期での学習のねらいを踏まえた上で、以下のことに留意して学習する。 (1) 多くの語彙を身に付け、構文をしっかりと理解し、音読を通して様々な表現を自動化する。 (2) 本文については、その概要を英語で表現できるようにする。 (3) 本文における分詞構文、関係代名詞、仮定法、比較、特殊構文などの扱われ方を確実に理解し、定着させる。 (4) 日本語と英語両方による要約を行い、また、プレゼンテーションや英語による意見の交換などを通して、各章のテーマの理解を深める。
三 学 期	Reading 1 An Unlikely Friendship Reading 2 Cellists Reading 3 The Nobel Prize Speech Given by Aung San Suu Kyi	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、2学期の学習のねらいを踏まえた上で、以下のことに留意して学習する。 (1) 本文を読んで、それに対する自分の考えを英語で表現できるようにする。 (2) 長い文章に慣れ、読解に必要な情報を探し出し、それらのテーマについて書いたり話したりして、英語で自分の意見を述べられるようにする。